

平成30年度授業改善推進プラン(各教科)

文京区立千駄木小学校

平成30年9月

	課題意識をもたせる工夫・ 学習意欲を高めさせる工夫	対話を取り入れた授業の工夫 (学び合い)	振り返り・まとめの工夫
国語	○単元の最初に、学習感想や話し合いをもとに、学習活動計画を立てさせ提示し、学習の見通しをもたせる。	○自分の考えをペア、グループ、全体で話し合わせることで、理由の違いに気付かせ、多様な考えを共有させ、学び合いのよさを実感できるようにする。	○めあてに対する振り返りを行うことで、今日学んだことや次に取り組みたいことを自分の言葉でまとめさせる。また、次時の学習に生かすことができるようにする。
社会	○写真や資料、体験的な学習から気付きや予想、仮説を立てさせることにより、学習の方向付けを行う。	○調べたことをもとに分かったことを話し合い、社会事象の意味やその事象に携わる人々の思い等を全体で共有するという学習を設定し、社会に対する関心を高めさせる。	○本時のめあてに対して、調べて分かったことを、自分の言葉でまとめる活動を設定する。 ○まとめの書き出しの言葉を示すことで、どの児童もまとめを書けるようにする。
算数	○「必要感や切実感を生んだり、矛盾やずれがあったり、条件過多や条件不足であったりする問題を設定する」「問題を提示する方法を工夫する」などして、児童自らが学習のめあてを見い出しているようにする。	○図、表、グラフ、式、キーワードなどを使って自分の考えを表現させる。 ○ペアやグループ、全体の話し合いを、内容や習熟に応じた方法で行う。 ○児童のつぶやきや発言を生かしてそれぞれの考えを関連付け、児童がよさを見付けたり、よりよいものを見い出したりすることができるようにする。	○児童の言葉を生かし、つなぎながら、本時のめあてに正対したまとめを行う。 ○新たな発見や問い、疑問などにつながる学習感想を紹介する。 ○適用問題に取り組む時間を確保する。
理科	○児童が明確に予想を立てられる問題になるように工夫して示す。 ○「問題」「予想」「実験」「結果」「結論」「考察」の流れを明確にして展開し、今やっていることが分かるように板書する。	○グループで協力しながら実験や観察を行うことで、互いに学び合える環境を作る。 ○事象に対する自分の予想や実験の考察を交流することで、新たな問いや理解の深まりにつながるようにする。	○「結果」「結論」「考察」の違いを「～となった」「～が分かった」「～と思った」等の文末を意識してまとめさせる。「問題」に対する解答が、「結論」になっていることを確認させる。
生活	○児童が興味をもてる身近な人やものを教員が学習材として選定し、出会わせ方を工夫する。 ○児童の思いや願いが継続していけるよう、児童の言葉を取り入れためあてを設定する。	○体験活動を取り入れ、調べたことや経験したことを伝え合う活動を通して、新たな気付きを共有し、学び合いの楽しさを実感できるようにする。	○毎時間、めあてに対する振り返りの時間を設け、よい気付きや深めたい考えをもっている児童の感想を共有する。
道徳	○児童の生活経験を尋ねたり、価値項目について考えたりして、どんな学習をするのか、大事なことは何かを気付かせる。	○題材や体験などから考えたこと、感じたことを話し合うことにより、異なる考えに接することができるようにする。	○学習したことを振り返り、今までの自分はどうだったか、これからどうしていきたいかななどをワークシートに記入して発表させ、日常生活に生かす意欲につなげる。
音楽	○児童が新しい曲を学習する際、既習曲との共通事項を意識させたり、CDやDVDなどの資料によって、興味・関心を高めたりするなどの工夫をする。	○音楽鑑賞や表現活動を行う過程で、互いに気付いたことや感じ取ったことを言語化して交流したり、共有したり、共感し合ったりする場面を設ける。	○本時の授業で、技術的に習得したことや、それを生かして表現したいことなどを自分の言葉でワークシートにまとめ、発表することで皆で共有させる。
図工	○活動内容を掲示し、デジタル教科書、実物投影機を使って、制作過程を具体的にイメージさせ、見通しをもって活動に取り組めるようにする。	○活動中に作品を見合う場面を設け、互いに感じたことや考えたことを交流させ、作品のよさに気付かせる。	○ワークシートに、「学んだこと」や「工夫して表現したところ」を中心に学習感想を書かせ、自己の変容に気付かせる。
家庭	○単元の初めにはオリエンテーションを行い、単元の目標やゴールを示し、見通しがもてるようにする。また、毎時間、安全面や活動の流れを示し、児童が安心して活動に取り組めるようにする。	○グループで調理や裁縫、清掃など学習に必要なことや方法を調べ、計画・実践・振り返りを行うことで、友達と交流しながら課題をやりとげる体験をさせ、協力・協働のよさに気付かせる。	○毎時間、ワークシートでめあてに対する振り返りを行い、年間を通してためていき、できるようになったことを実感できるようにする。また、家庭で取組みたいことなどを書かせ、家庭実践への意欲につなげる。
体育	○単元の最初にオリエンテーションを行い、めあて、学習の流れ、安全面の配慮について指導し、見通しをもたせる。また、児童一人一人がめあてをもって取り組めるようにする。	○ペアやグループで互いに動きを見合い、様子を伝えたりアドバイスしたりすることができるようにする。	○めあてに沿った振り返り・自己評価を記録させ、次の学習のめあてに生かせるように指導する。